



バイエル薬品株式会社
〒530-0001
大阪市北区梅田 2-4-9
TEL 06-6133-7333
www.byl.bayer.co.jp

News Release

バイエル薬品、2017 年も引き続き市場成長率を上回る成長を達成

- 売上高は前年比 4.9%増となり 3,000 億円を突破、「イグザレルト®」「アイリーア®」が貢献
- 滋賀工場は設立 40 周年、戦略工場として継続投資
- ベンチャー企業支援のインキュベーションラボ「CoLaborator」が 6 月に開設

大阪、2018 年 4 月 26 日 — バイエル薬品株式会社(本社:大阪市、代表取締役社長:ハイケ・プリンツ、以下バイエル薬品)の 2017 年の売上高は、前年比 4.9%増¹の 3,059 億円¹(以下、薬価ベース)となりました。国内医療用医薬品市場がマイナス成長に転じる中、着実に売上高を伸ばし、初めて 3,000 億円を突破しました。この継続的な成長によって、同市場における企業別売上高の順位も 8 位²に上昇しました。これは、選択的 direct 作用型第 Xa 因子阻害剤(経口抗凝固剤)「イグザレルト®」と眼科用 VEGF 阻害剤「アイリーア®」の 2 製品が引き続き成長に貢献したことに加え、「後発医薬品なし(特許保護期間または再審査期間中の製品)」の製品が売上高に占める割合を 83%に上げるなど、革新的医薬品を患者さんに提供することができた結果であると考えます。

主力製品である「イグザレルト®」と「アイリーア®」の 2 製品は、3 年連続で売上高が同類薬市場において 1 位となり、マーケットを牽引し続けています。「イグザレルト®」の売上高は、715 億 1,400 万円(前年比 11.5%増)³と増加しました。全世界では同剤の発売以降、130 カ国以上で 3,900 万人⁴に処方されています。「アイリーア®」は、売上高 599 億 8,600 万円(同 12.9%増)³に伸長しました。

2017 年 4 月に発売した、子宮内膜症に伴う疼痛改善剤・月経困難症治療剤「ヤーズフレックス®配合錠」は、国内で初めて最長 120 日間の連続投与が可能となった低用量エストロゲン・プロゲステン製剤で、新しい治療選択肢として患者さんに提供しています。同年 6 月には高リン血症治療剤ホスレノール®OD 錠、同月に経口マルチキナーゼ阻害剤スチバーガ®錠が、がん化学療法後に増悪した切除不能な肝細胞癌に対する適応追加承認を取得し、肝細胞癌の二次治療において全生存期間の有意な延長が認められた初めてかつ唯一の治療薬として使用できるようになりました。また、10 月には血友病 A の治療薬である遺伝

子組換え型第Ⅷ因子製剤 BAY94-9027 の承認申請を行いました。2018 年は、開発パイプラインとして国内で 36 件の第Ⅱ相および第Ⅲ相臨床試験の実施を予定しており、引き続き患者さんに有望な医薬品を届けるための開発を続けていきます。

弊社の滋賀工場は、本年 4 月をもちまして設立 40 周年を迎えました。日本で求められる品質要求に合致するための精度の高い検査と製品品質に重要な温度の維持、また日本のユーザーの要望に合わせた包装工程の構築を実現してきました。さらに、生産効率の向上と GMP への適合を追求しています。ドイツ・バイエルグループにおいて、日本はビジネス面で確実に成果を上げるべき重要な国と位置付けられています。そうした背景から、日本にある滋賀工場はプロダクトサプライの戦略において重視され、投資により機能の拡張を図る計画が進められています。

また、バイエルグループでは、ライフサイエンス分野におけるベンチャー企業のための独自のインキュベーションラボ「CoLaborator」を 2012 年以降、ドイツや米国で開設しており、ベンチャー企業の支援を通じて複数の共同研究に進展する実績を有しています。本年 6 月には、これまでの全世界的なノウハウを活用するとともに、日本の環境に合わせた「CoLaborator Kobe」を神戸医療産業都市に開設します。これにより、日本におけるベンチャー企業の活性化に貢献してまいります。

¹Source: Copyright © 2018 IQVIA. Calculated based on JPM Dec. 2017 MAT/Reprinted with permission

²Source: Copyright © 2018 IQVIA. Company 1 ranking in IQVIA Topline data in 2017/Reprinted with permission

³Source: Copyright © 2018 IQVIA. Calculated based on JPM Dec. 2016-2017 MAT /Reprinted with permission

⁴Internal calculation derived from IQVIA MIDAS. Copyright © 2018 IQVIA. Calculated based on MIDAS 2008-2017 MAT/Reprinted with permission

バイエルについて

バイエルは、ヘルスケアと農業関連のライフサイエンス領域を中核事業とするグローバル企業です。バイエルはその製品とサービスを通じて、人々のクオリティ・オブ・ライフ (QOL) の向上に貢献すると同時に、技術革新、成長、およびより高い収益力を通して企業価値を創造することも目指しています。また、バイエルは、持続可能な発展に対して、そして良き企業市民として社会と倫理の双方で責任を果たすために、これからも努力を続けます。グループ全体の売上高は 350 億ユーロ、従業員数は 99,800 名 (2017 年)。設備投資額は 24 億ユーロ、研究開発費は 45 億ユーロです。詳細は www.bayer.com をご参照ください。

バイエル薬品株式会社について

バイエル薬品株式会社は本社を大阪に置き、医療用医薬品、コンシューマーヘルス、動物用医薬品の各事業からなるヘルスケア企業です。医療用医薬品部門では、循環器領域、腫瘍・血液領域、ウイメンズヘルスケア領域、眼科領域、画像診断領域に注力しています。コンシューマーヘルス部門では解熱鎮痛薬「バイエルアスピリン」をはじめ、アレルギー性疾患治療剤や皮膚科領域に注力しています。動物用医薬品事業部は、動物用医薬品の提供を中心にコンパニオンアニマルおよび畜産動物のヘルスケアに貢献しています。同社は、技術革新と革新的な製品によって、日本の患者さんの「満たされない願い」に応える先進医薬品企業を目指しています。詳細は www.by1.bayer.co.jp をご参照ください。

バイエル薬品株式会社

2018年4月26日、大阪

将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements)

このニュースリリースには、バイエルの経営陣による現在の試算および予測に基づく将来予想に関する記述 (Forward-Looking Statements) が含まれています。さまざまな既知・未知のリスク、不確実性、その他の要因により、将来の実績、財務状況、企業の動向または業績と、当文書における予測との間に大きな相違が生じることがあります。これらの要因には、当社の Web サイト上 (www.bayer.com) に公開されている報告書に説明されているものが含まれます。当社は、これらの将来予想に関する記述を更新し、将来の出来事または情勢に適合させる責任を負いません。